

---

# 無意識に誰かを傷つけてる

粘膜ピエロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無意識に誰かを傷つけてる

### 【コード】

N0002L

### 【作者名】

粘膜ピエロ

### 【あらすじ】

無意識に他人を傷つけたり、傷つけられたり

どちらにもなるんです

## 1 (前書き)

愛想笑いがこわいです

いらっしやいませー

店に足を踏み入れると数ヶ所から明るい声がした。

店員は誰もアタシの方は見ず、マニキュアや化粧品などの細々した商品を並べたりしている

友達との待ち合わせまでちょっと時間があるし、メイク道具でも見て行こうかって寄ってみた。

このお店、値段は定価だけど、色々可愛い商品が置いてあって、時間つぶすにはちょうどいい感じ。

なんか気に入ったのでもあったら買っていこう  
特に買う物も決めず店内をブラブラ見ていたら、店員が話しかけてきた

何かお探ですか？

え？あ、マスカラをちょっと

マスカラですね、こちらとか、あちらもオススメですよ

年増の店員は乾いた愛想笑いを貼り付けて、棚を示す。

あ、どーも。

別にマスカラ探しにきたわけじゃないし、また店内を見てまわり、キラキラした鏡を手に取ってみていたら

また先程の店員が話しかけてきた。

マスカラはどうですか？

見つけましたか？

手には商品を入れる小さなカゴを持っている

ピンときた。

アタシ不審な客と思われてるんだ

隙があれば万引きすると思ってるの？

スカート短い女子高生ならともかく、社会人だよ？

小さなカゴを受け取りながら、アタシはマスカラを重ね塗りしたおつきい目で、店員の目をじーっと見つめた

違和感

目じりにひどい笑いシワができるほどニコニコと笑っているが目は全然私の方を見ていない。

このお店はすぐに買うもの決めなくちゃ駄目なの！？喉まででかかった言葉。

アタシは店の出口の積み重ねられたカゴの上に、持っていた空のカゴを叩きつけて店を出た

## 1 (後書き)

ネットショッピングはいいですねー

## 屈辱感 屈辱感

フルメイクでバッチリ服も決めてきつといい女に見えると思って出かけたのに、化粧品ひとつ買えない貧乏人が万引きと思われた！

アイツのせいでコンプレックスの塊だった昔を思い出した。

許せない許せない許せない

時間が経つにつれ、アタシのどす黒い気持ちは膨れあがり、

殺そう

と思った。

彼女の帰りの時間に車で待ち伏せし、人通りのない暗い道に入ったところで後ろからはねた

そんなにひどい怪我はしてないみたい。

良かった

気を失ってぐったりした彼女を車に乗せ、猿ぐつわと手足を縛り、  
廃墟の病院へ

錆び付いた車椅子に乗せ、手足を固定

入り口を進み、鉄製の重い扉の部屋へ

扉を閉めて車椅子を部屋の真ん中に固定してから、こんなにか弱いのに私ってば行動力とスタミナあるな〜なんてちょっと感心

スポットライトのように車椅子に明かりを当てる

起きてくださーい

〇〇〇子さん

起きてくださーい

と優しくほっぺをぺちぺち

やがて眉間にシワを寄せ、彼女は意識を取り戻した

猿ぐつわの下からうーうーと唸り、目を大きく見開き、ガタガタと車椅子を揺さぶる

落ち着いてください

貴女とゆっくり話したいだけなんです

アタシは後ろに周りヨダレでぐちゃぐちゃになった猿ぐつわを外してあげる



その途端、彼女はもの凄い悲鳴をあげた  
キヤーーーーーー

息が続く限り

息継ぎをしてもう一度絶叫誰か助けて！助けて！

アタシは叫び続けてる彼女に向かって、唇に人差し指をあて、静かにして、と合図した。

誰にも聞こえないですよ？

疲れるだけですよ？

〇〇〇子さんに聞きたいことがあるんです

なんで私の名前知ってるのよ！誰なのあんた！

彼女のバッグから出した免許証を見せながら

アタシを覚えてない？

とバッチリフルメイクした顔を近づけた

??知らない！誰なの？何なの！？

先週の水曜日にお店に行っただんです。

その時にもかして万引き犯と勘違いされたのかな

〇〇〇子さんはどんなふうに感じたのかな？

って聞きたかったんです。

は！？あんた何言ってるの？覚えてないわよ！頭おかしいんじゃない

い！

覚えてないんですね

アタシこんなに傷付いたのに

無意識に人を傷つけたんですよ

謝ってください

わ、悪かったわよ！

早く家に帰して！

思い出せないのに謝られても意味ないですよ

思い出したわ！万引き犯なんて思っていない！

何も持っていない人に声かけたりカゴ渡すのはマニュアルなのよ！

わかりますよ

マニュアルですね

でも許せないんです。

アタシは彼女の片方の靴と靴下を脱がせ、大きなハサミを持った

彼女は悲鳴をあげつつづけている

何するの！

ほんとに悪かった

ごめんなさいごめんなさい

車椅子をガタガタと揺らし、逃れようとする

ハサミの歯を足の小指にあてがい、

バチン

と切り落とした

ギャーーーーー！！

痛い痛い痛い痛い！

うるせえんだよ！！

アタシはハサミの柄で口を殴りつけた

何度も何度も何度も

自分の手だと痛いからね

息をきらして殴る手を止めると彼女の歯は何本か折れ、口の周りは血でぐちゃぐちゃになっていた

はあはあ

ごめんなさいちょっと熱くなっちゃって

〇〇〇子さんの小指ちっちゃいね

足の小指を拾って彼女の口の中に押し込む

あががが

彼女は必死に自分の一部だったものを吐き出す

出しちゃダメだよお

次はどこがいい？

マスカラがドロドロになり、黒い涙を流しながら首をふる  
ライトの明かりで皺が深い影を作っていた

次これいってみよっか

アタシは霧吹きを見せた

この中には塩酸が入ってます  
ちゃんと薄めてあるよ

まずは顔にシュツとひと吹き  
シュツシュツシュツシュツ

むき出しの腕や車椅子の下に小さく血だまりを作っている足にも  
ダラダラと水滴が落ちるほどかけ続けた

そのうちに、

ひやめて！熱い！熱い！熱い！

彼女の肌は真っ赤に腫れ上がってきた

その様子をしばらく見ていたけど、  
なんか飽きちゃった

また来るね

私は言ってライトを消した  
置いていかないで！助けて！

歯が折れ不明瞭な発音の絶叫を聞きながら、アタシは重い鉄製の扉

を閉めた

色々忙しくて来るのが5日後になっちゃった

〇〇〇子さーん

生きてますかー？

扉を開けた途端、ものすごい臭い

車椅子の下には5日分の排泄物が流れている

汚いなーもー

マスク持ってきて良かった

ライトをつけても土気色の顔は身じろぎしない

確かめるため片方の人差し指をハサミで切った

バチン

彼女は目をかっと思開き、

ぐギャーーーーー

と叫び暴れた

まだ元気だね

私は話しかけながら次々に指を切った

バチン

バチン

バチン

バチン

痛みで気を失い、次の痛みで覚醒する  
グギャっがっガっ

ヨダレを垂らし、正気を失っているのか、虚ろな目をしている

つまらないもう片付けよう

アタシは彼女に猿ぐつわを噛ませ、車椅子を押しして病院の外に出た

月明かりが彼女を照らす

最後の景色ですよ

彼女の耳元で囁く

敷地内に掘っておいた穴に車椅子をそのまま突き落とす  
顔面から穴の底に叩きつけられた

あ、生き埋めにするんだっいたら埋められていく顔見ながらのが良かったかな

そんなことを考えながら、土をかけていく

もしここが解体されて彼女が発見されてもアタシは捕まらない

だってアタシと彼女には、何も接点がないもの

さよなら



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0002/>

---

無意識に誰かを傷つけてる

2010年10月10日14時40分発行